

## 東京三弁護士会成年後見制度 20 周年記念シンポジウム ～より良い後見制度を目指して～

高齢者・障害者の権利に関する特別委員会委員 田中 朝美 (64 期)



### YouTubeで動画を配信中

成年後見制度の運用開始から20年余りが経つ現在、民法改正を含む制度見直しの検討が進められています。

東京三弁護士会では、日本弁護士連合会共催「東京三弁護士会成年後見制度20周年記念シンポジウム～より良い後見制度を目指して～」を企画し、本年3月に撮影した動画をYouTubeで配信しています。現在の議論状況を整理すると共に、迷い悩みながら後見業務を担って下さっている当会会員を含む弁護士全体の参考となるような内容です。

### シンポジウムの概要

新潟大学の上山泰教授による基調講演(約60分間)では、2022年策定の第二期成年後見制度利用促進基本計画が示す制度改正の方向性を整理していただきました。公益社団法人商事法務研究会が主催する成年後見制度の在り方に関する研究会のメンバーとして、民法改正に向けた論点の洗い出しと検討を行っている立場からの分かりやすい解説です。

「これからの成年後見制度と弁護士が果たすべき役割」をテーマとしたパネルディスカッション(約100分間)では、上山教授による指摘や解説、困難事案を多く見てきた東京都の小澤耕平氏や社会福祉士の星野美子氏から弁護士に向けたご意見などが率直に語られています。当会会員にもご協力いただいたアンケートの回答に表れた弁護士後見人の悩みや工夫などを踏まえた企画です。自治体などの関係機関での助言にも多く関わる弁護士がコーディネーターやパネリスト

に加わり、「弁護士後見人は必要か」「弁護士後見人と意思決定支援」「弁護士後見人の柔軟な交代・見直し」「弁護士後見人の減少と対策」など、具体的な実情に踏み込んだ議論をしています。

### 当会会員へおすすめしたいポイント

本シンポジウムの動画は、論文を読むよりも格段に分かりやすく、弁護士に向けた内容として作成されています。成年後見制度に弁護士がどのように関わっていくべきなのか、様々な考え方がありますが、本シンポジウムの動画視聴をした後は、やはり弁護士が「頼りにされている」存在だと実感し、今後の実務に活かすヒントを見つけることができるはずです。

総合的な権利擁護支援策の充実に向けた制度見直しの議論では、適切な時期に必要な範囲・期間で利用する制度の導入、後見の開始要件・終了事由の見直し、成年保護特別代理人制度の創設など、多くの論点が出ています。後見人として活動している会員に限らず、多くの会員に本シンポジウムの動画を見ていただき、今後の参考としていただければ幸いです。

### 自由度の高い視聴方法

申込不要なYouTube配信の形式をとっていますので、オアシス指定研修ではありませんが、いつでも自由に聞きたい部分だけ視聴することが可能です。倍速再生やスロー再生など、再生速度も自由です。全文の字幕を表示していますので音声なしで見ていただくことも、資料だけダウンロードすることも可能です。配信期間は約半年間、本年12月末まで配信の予定です。お見逃しのないよう、是非ご視聴ください。



ご視聴は以下のURLか二次元コードから  
<https://www.youtube.com/watch?v=KMj-cQH0ws8>